

ブロードマインド少額短期保険

ディスクロージャー

2010

これからの新しい保険のカたち  
少額短期保険



## CONTENTS

---

### ・PART 1 業績報告

- 1-1 ご挨拶
- 1-2 事業の概要
- 1-3 収支の状況
- 1-4 財務の健全性

### ・PART 2 商品とサービス

- 2-1 商品のご紹介
- 2-2 販売体制
- 2-3 お客様サポート
- 2-4 情報開示

### ・PART 3 各種取り組み

- 3-1 リスク管理
- 3-2 個人情報保護
- 3-3 コンプライアンス
- 3-4 教育研修体制

### ・PART 4 会社概要

- 4-1 会社プロフィール
- 4-2 組織体制と経営陣
- 4-3 グループのご紹介

### ・PART 5 各種データ

本資料は、保険業法第 272 条の 17 において準用する保険業法第 111 条第 3 項、第 4 項および保険業法施行規則第 211 条の 37 第 1 項に基づき作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。

## PART 1

### 事業報告

- 1-1 ご挨拶
- 1-2 事業の概要
- 1-3 収支の状況
- 1-4 財務の健全性

## 1-1 ご挨拶

平素よりブロードマインド少額短期保険をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

2011年5月より弊社代表取締役を拝命いたしました、古川でございます。お客様の万を一を陰で支える少額短期保険業者を目指し、邁進して参ります。

このたび、少額短期保険業者として第3期事業年度を終了いたしましたので、平成22年度の業務及び財産の状況に関するご説明のために、ディスクロージャー資料を作成いたしました。

私たちブロードマインド少額短期保険は、お客様の「万一」の一助となる商品を、リーズナブルな価格で提供して参ります。

今後とも新経営陣のもと、お客様・株主・従業員のために良い会社作りを目指して参ります。

皆様におかれましては、引き続きあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ブロードマインド少額短期保険株式会社  
代表取締役社長  
古川 建治

### 少額短期保険とは

100年に一度といわれる2006年4月の改正保険業法によって誕生した新しい保険制度です。今まさに、一番注目を集めている保険制度で、新しい時代の新しい保険といえます。従来、共済と呼ばれていた制度も、少額短期保険の誕生によって新制度に移行しており、現在60を超える少額短期保険業者が誕生しています。少額短期保険は、小口で1年または2年更新が特徴の身近で等身大な保険であり、消費者の皆様にとっては、保険加入の選択肢が一層充実しました。

## 1 - 2 事業の概要

### 2010年度の概観

当期のわが国経済は、景気低迷が続く中、高齢化の進展、失業率が高水準にある等依然として厳しい状況が続きました。加えて、3月11日に起こった東日本大震災の発生など、1年を通して明るい材料は少なく、また今後においても不透明感の強まった1年だったと言えます。

このような経済情勢の下、営業開始3年目にあたる当期の業績は、保険料収入は374,706千円(前期比106.5%)と進展しましたが、保険金・給付金の支払が190,950千円(前年比117.4%)と大きく増加し、コスト削減に努めましたが、これを補うには至らず、経常損失は73,674千円(前期は経常損失31,412千円)、当期純損失は73,939千円(前期は当期純損失35,203千円)となりました。

### 新契約件数／保有契約件数

当期は、昨年度発売のスポーツ傷害保険が13,059件の新契約を挙げ、インターネット販売の着実な増加と相まって、全商品合計新契約15,545件、年度末保有契約は21,907件と、保有契約を大きく伸展させました。

### 収入保険料／保有契約高

収入保険料では、前述の通り374,706千円を達成しました。また、保有契約高では、1,758億円となり、前年比1.8倍となりました。

### 代理店数／募集人数

年度末における募集人数は1,930名(前年度末実績1,064名)となり、計画値を大幅に上回ることができました。また、販売代理店数も158店(前年度末実績91店)となり、前年度から急拡大いたしました。未稼働募集人・代理店の発生という課題も残しました。

## 1 - 3 収支の状況

### 経常収益

2010年度末における当社の経常収益は522,140千円となりました。これは収入保険料に加えて再保険金の回収分を計上したことによります。

### 経常費用

2010年度末における当社の経常費用は595,813千円となりました。その結果、経常損失が73,674千円となり、今期より社内体制および商品戦略の大幅な再構築を推進しております。

### 純資産

2010年度末における当社の総資産は120,207千円、純資産は14,078千円となっています。

## 今後の事業課題

スポーツ傷害保険が、当該マーケットでのシェアを確保し、生命定期保険・入院保障付生命定期保険・無選択型生命定期保険が一定の新契約を維持しているため、保有契約および収入保険料は増加しておりますが、フロントガラス保険金が大幅な支払い過多となり、スポーツ傷害保険も予定を上回る支払となっているため、これら商品の適正化または更新停止を含む見直しを図ることが急務であります。また、コスト削減を図っているものの、利源別にみると未だ大幅な費差損の状態にあり、更なる人員削減ならびに業務フローの再構築を図っていく必要があります。募集体制においても創業以来、徒に代理店網や募集人を増店増員してまいりましたが、当社内の営業支援体制に見合った規模、および質への転換を図っていく必要があります。尚、保有契約の増大に対応して、事務体制を整備し、コンプライアンスの徹底により、真に契約者の立場に立った組織を再構築します。

## 1-4 財務の健全性

### 責任準備金

2010年度末における当社の責任準備金積立額は、31,396千円となっています。当社では引受リスクの大半(80%)を再保険によりカバーしているため、責任準備金の積立額は相対的に少なくなっています。

### ソルベンシー・マージン比率

2010年度末における当社のソルベンシー・マージン比率は、361.8%となっています。この値は主務官庁の定める基準値:200%を上回っており、支払い余力を有していることを意味しています。今期につきましては増資等による資金調達を行い、財務基盤の安定を目指してまいります。

### 再保険によるリスクヘッジ

当社では引受リスクの大半(80%)を再保険によりカバーしています。そのために当社の財務基盤に万一のことが生じても保険金の支払いに支障がおこりにくい仕組みとなっています。

### 資産運用

当社では、有価証券を保有しておらず、資産運用については、当面現預金のみで安全性を最優先していく予定です。

## PART 2

### 商品とサービス

- 2-1 商品のご紹介
- 2-2 販売体制
- 2-3 お客様サポート
- 2-4 情報開示

## 2-1 商品のご紹介

### 販売商品

現在、当社では「生命定期保険」「入院保障付生命定期保険」「無選択型生命定期保険」「フロントガラス破損補償保険」「スポーツ傷害保険」の5商品を販売しています。

### 生命定期保険

万一の死亡時、重度障害の場合に保険金をお支払いする保険です。生命保険の基本ともいえるシンプルで応用範囲の広いプランです。

現在、「いきいきプラン」「あんしんライフ」などの商品名で販売しています。

### 入院保障付生命定期保険

万一の死亡時、重度障害の保障に加え、入院時の保障も組み込まれた保険です。死亡保障と入院保障をお手軽な料金でカバーできるプランです。

現在、「けんこうプラン」「あんしんメディカル」などの商品名で販売しています。

### 無選択型生命定期保険

万一の死亡時に保険金をお支払いする保険です。医師の健康診断や健康告知なしでご加入いただけるシニア向けのプランです。

現在、「しあわせプラン」「あんしんシニア」などの商品名で販売しています。

### フロントガラス破損補償保険

日本自動車ガラス販売施工事業協同組合との共同検討により商品化したもので、飛び石などにより破損することも多いフロントガラスを対象を絞った業界初の保険となります。補償の対象をフロントガラスに絞ったことで、通常の車両保険と比べて割安な保険料を実現しました。

※現在、新規の販売は行っておりません。

### スポーツ傷害保険

スポーツ中の怪我など、スポーツ中のさまざまなリスクをカバーすることに特化した保険で、「スポーツ中死亡保険金」「スポーツ中重度障害保険金」「傷害死亡保険金」「傷害重度障害保険金」「特定損傷給付金」「傷害入院給付金」「傷害手術給付金」「傷害通院給付金」などを支払う保険商品です。スポーツ中のリスクに特化した商品という意味では、少額短期保険業界でも初めての非常にユニークな保険商品です。

現在、「スポーツ応援団」の商品名で販売しています。(2011年6月末現在)



## 2-2 販売体制

### 対面チャネル

当社のグループ会社である、ブロードマインド株式会社は少額短期保険募集代理店です。ブロードマインド株式会社の各拠点（東京・大阪・名古屋）および訪問先で販売しています。

### 代理店チャネル

当社との代理店委託契約に基づき、当社商品を販売していただいている法人、個人代理店の販売チャネルです。現在、代理店は全国に158店、募集人数で1,930名が当社のパートナーとして販売に従事しています。（2011年3月末現在）

### 非対面チャネル

郵便、電話、インターネット等によって当社の保険を販売する方式です。コールセンターやインターネットを通じて全国の皆様に当社の商品をお届けしております。

### 今後の取り組み

今後は、それぞれのチャネルに合わせたプロモーションプランを策定し、お客様への保険販売の機会を増やしていく予定です。3つの販売チャネルをもつことは、当社の最大の強みであり、今後もバランスのとれたチャネル開拓を進めていきます。

## 2-3 お客様サポート

### 基幹システムMtas

当社では基幹システムを自社開発しているため、実情に即した顧客管理、契約情報を実現でき、またセキュリティ等にも十分配慮することが可能となっています。



The screenshot displays a web-based interface for the Mtas system. It features several sections for data entry and viewing:

- 顧客情報 (Customer Information):** Includes fields for company name (e.g., 日本ボウリングスクラブ連合), address, and contact details.
- 契約者情報 (Policyholder Information):** Contains fields for policy number, name, and other identifiers.
- 契約内容 (Policy Details):** Shows policy type (e.g., 日本ボウリング), start date, and premium information.
- 支払状況 (Payment Status):** Includes fields for premium amount, due dates, and payment history.

The interface includes various buttons for actions like '検索' (Search), '更新/変更' (Update/Change), and '印刷' (Print).

### お客様宛通知

保険料のお引き落としができなかった際にお送りする「保険料ご請求案内」、更新時にお届けする「契約更新のご案内」など、きめ細かい案内にてお客様をフォローしています。

### フリーダイヤル

新規のお客様も既にご契約のお客様も、お気軽にお問い合わせをいただけるよう、フリーダイヤル回線をご用意しています。

## 保険金支払体制

当社では、お客様が安心して保険金、給付金をご請求いただけるよう、社内の保険金支払部門の体制を整備すると共に、速やかな保険金支払いができるよう業務運営に努めています。

## 苦情受付体制

当社では万一お客様から苦情を頂戴した場合も迅速、誠実に対応できる体制を整えています。また、再発防止のために社内教育や組織体制の整備に努めています。

## 2-4 情報開示

### ウェブサイト

当社では、ウェブサイトにおいて、商品内容や会社概要、また各種取り組み内容等を開示しているほか、インターネットで申込手続きが完結するオンライン申込や、資料請求などもインターネットを通じて、カンタンにできるようにするなど、お客様の利便性の向上に努めています。



### ディスクロージャー

当社では年一回、決算等の確定を踏まえてディスクロージャー資料を作成しています。当資料は当社ウェブサイトよりご自由に閲覧、ダウンロードいただくことができます。

### ニュースリリース

当社では、ご契約者の皆様をはじめとする全てのお客様に対し、当社の取り組みやお知らせについて「ニュースリリース」として情報発信しています。



## PART 3

### 各種取り組み

- 3-1 リスク管理
- 3-2 個人情報保護
- 3-3 コンプライアンス
- 3-4 教育研修体制
- 3-5 指定紛争解決機関について

## 3-1 リスク管理

### リスク管理体制

当社では、リスク管理体制の整備、強化を重点取り組み課題として位置付けています。適切なリスク管理をおこなうことで、業務の健全性および適切性を確保し、少額短期保険業者としての信用、信頼を高めていく所存です。

また、大災害発生等を想定した「コンティンジェンシープラン」も策定しています。

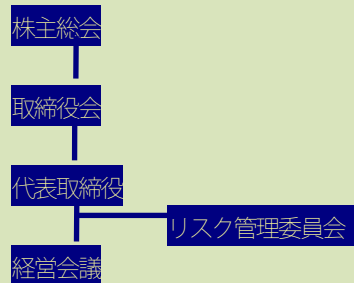
### 情報セキュリティ

情報セキュリティへの取り組み指針として、「セキュリティポリシー」を策定すると共に、「情報セキュリティ管理責任者」を配置して、適切な情報管理に努めています。

#### リスクの種類

- ・資産運用リスク
- ・保険引受リスク
- ・事務リスク
- ・システムリスク
- ・その他経営リスク

#### リスク管理体制



#### ブロードマインド少額短期保険株式会社 セキュリティ・ポリシー（抜粋）

1. 情報セキュリティ管理体制の構築  
当社が保有する全ての情報資産の保護に努め、情報セキュリティに関する法令その他の規範を遵守することにより、社会からの信頼を常に得られるよう、高度な情報セキュリティ管理体制を構築していきます。
2. 「情報セキュリティ管理責任者」の配置  
社内に「セキュリティ管理者」を設置するとともに、リスク管理委員会を常設します。これにより情報セキュリティの状況を正確に把握し、必要な対策を迅速に実施できるよう積極的な活動を行います。
3. 情報セキュリティに関する内部規程の整備  
情報セキュリティポリシーに基づいた内部規程を整備し、個人情報だけでなく、情報資産全般の取り扱いについて明確な方針を示すとともに、情報漏洩等に対しては、厳格な姿勢で臨むことを内外に周知徹底します。
4. 監査体制の整備・充実  
情報セキュリティポリシー及び規程、ルール等への遵守状況に対する内部監査を実施できる体制を整備してまいります。監査を計画的に実施することにより、全職員はセキュリティポリシーを遵守していることを証明します。
5. 情報セキュリティ対策を徹底したシステムの実現  
情報資産に対する不正な侵入、漏洩、改ざん、紛失、破壊、利用妨害などを防止するべく、徹底した対策の実施とシステムの構築を行ってまいります。高セキュリティエリアでの作業、DB アクセス権の制限など、データへのアクセスを徹底的にコントロールします。
6. 情報セキュリティリテラシーの向上  
全職員及び派遣職員にセキュリティ教育と訓練を継続的に実施し、当社の情報資産に関わる全員が、情報セキュリティリテラシーを持って業務を遂行できるようにします。

## 3-2 個人情報保護

### 取り組み

当社では、個人情報保護を重要課題として位置付け、関連法規に基づき各種の社内規定を整備すると共に、社内の管理体制の強化に努めています。

### プライバシーポリシー

当社では、お客様の個人情報の保護に万全を尽くすため、下記のとおり「プライバシーポリシー」を定めています。

### センシティブ情報の取扱

センシティブ情報については、保険事業の適切な業務運営を確保する必要性から、業務遂行上必要な範囲内で、各種保険契約の引き受け、継続、維持管理、保険金等の支払い、保険商品の開発等の目的に限定して取得、利用いたします。

#### 個人情報の外部提供

当社はおお客様とのお取引および当社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために次のような取り扱いをおこないます。

- ・再保険会社への情報提供
- ・業務委託先への情報提供

詳細はウェブサイト上のプライバシーポリシーをご参照ください。

#### センシティブ情報

保健医療等の機微情報を「センシティブ情報」といいます。センシティブ情報については、保険業法施行規則第53条の10により、利用目的が限定されています。

#### ブロードマインド少額短期保険株式会社 プライバシー・ポリシー (抜粋)

当社は、お客様の氏名や住所、電話番号、メールアドレスなど、特定の個人を識別できる情報（個人情報）の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）その他の関連法令等を遵守して、お客様の個人情報の保護を行なってまいります。

1. 個人情報の取得  
当社は、業務上必要な範囲内かつ、適法で公正な手段により個人情報を取得します。
2. 個人情報の利用目的  
当社では、次の業務を実施する目的に必要な範囲内で個人情報を利用します。  
①保険契約の申込みに係る引受の審査、引受、履行および管理  
②適正な保険金・給付金の支払い  
③再保険契約の締結、再保険契約に基づく通知および再保険金の請求  
④お問い合わせやご依頼などへの対応  
⑤その他、上記に付随する業務ならびにお客様とのお取引および当社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために行う業務
3. 個人データの安全管理  
当社は、個人データを正確かつ最新なものにするため、適切な措置を講じます。また、個人データへの不正なアクセス等が行われることを防止するため、必要と考えられる対策を講じます。
4. 個人データの第三者への提供  
当社は、次の場合を除き、第三者に個人データを提供することはありません。  
①あらかじめ同意がある場合  
②利用目的を達成するために業務を委託する場合  
③法令により必要とされる場合
5. 個人情報の開示・訂正・利用停止等について  
当社は、お客様からご自身の個人情報に関して利用目的の通知・開示・訂正・追加・削除・利用停止の依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応致します。

### 3-3 コンプライアンス

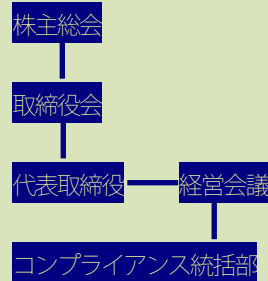
#### 取り組み

当社はコンプライアンスを最重要の経営課題として位置付け、法令遵守の体制づくり、保険募集から保険金のお支払いに至るまで、適正な業務遂行ができるよう、取り組みを続けています。

#### コンプライアンス体制

コンプライアンスを管理するため、独立した組織である「コンプライアンス統括部」を設けています。

#### コンプライアンス体制



#### 遵守すべき法令等

当社は保険業法をはじめとした関連法規はもとより、社内規程や社内ルールも遵守するよう周知徹底を図っています。

#### 遵守すべき主な法令等

- ・保険業法
- ・個人情報保護法
- ・消費者契約法
- ・金融商品販売法
- ・本人確認法
- ・会社法
- ・不正競争防止法

#### 反社会的勢力への対応

当社は反社会的勢力による被害を防止するため、「反社会的勢力に対する基本方針」「反社会的勢力への対応に関する規程」を制定しています。また、外部専門機関との連携、取引を含めた一切の関係遮断、有事における民事と刑事の法的対応、裏取引や資金提供の禁止を徹底しています。

#### コンプライアンス規程 第1条 (行動規範)

##### 1. 社会的責任と公共的使命

当社は、少額短期保険事業の社会的責任と公共的使命を認識し、健全な業務運営を通じて国民経済への寄与と事業の一層の発展を目指すものとする。

##### 2. 公正かつ公平な事業活動

当社は、常に公正な競争に努め、社会的に有用かつ良質な商品・サービスをすべてのお客様に公平に提供する。

##### 3. 法令等諸規則の遵守

当社は、役員・社員一人一人が高い倫理観を持ち、法令・諸規則に反することなく誠実に事業活動を遂行する。

##### 4. 社会とのコミュニケーション

当社は、良き企業市民として社会貢献活動や環境問題に積極的に取り組むとともに、企業情報の積極的かつ公正な開示に努め、広く社会とのコミュニケーションを図る。

##### 5. 反社会的勢力に対する断固とした姿勢

当社は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対しては、断固とした姿勢で臨むものとする。

### 3-4 教育研修体制

#### ・社内教育

当社では「トレーニング体系」を策定し、社員および募集人に対する教育研修を推進しています。

#### ・代理店教育

保険募集の第一線にいる代理店、募集人の教育は最重要課題のひとつです。当社では商品研修、販売研修はもとより、適正な募集活動のためコンプライアンス研修等も定期的実施しています。

#### ・教育研修ツール

当社では代理店の質向上のため、さまざまな教育研修ツールを開発しています。販売スキル向上のための「販売マニュアル」事務スキル向上のための「事務マニュアル」などがあります。

#### ・勧誘方針

当社では、保険募集にあたり適正な販売活動を推進するため、「勧誘方針」を定めています。



### 3-5 指定紛争解決機関について

当社は、指定少額短期保険業務紛争解決機関である一般社団法人 日本少額短期保険協会との間で、少額短期保険業務に関する苦情処理手続および紛争解決手続等の実施のための手続実施基本契約を締結しております。

指定少額短期保険業務紛争解決機関では、ご契約者をはじめ、一般消費者の皆様からの少額短期保険全般に関するご相談・ご照会への対応や苦情処理・紛争解決を行います。

一般社団法人 日本少額短期保険協会 少額短期ほけん相談室

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-12-8 八丁堀SFビル 2 階

TEL 0120-82-1144(通話料無料)

FAX 03-3297-0755

[受付]

月曜日～金曜日(祝日・年末年始休業期間を除く)

9:00～12:00、13:00～17:00

ホームページアドレス <http://www.shougakutanki.jp/general/index.html>



## PART 4

### 会社概要

- 4-1 会社プロフィール
- 4-2 組織体制と経営陣
- 4-3 グループのご紹介

## 4-1 会社プロフィール

### 会社名

ブロードマインド少額短期保険株式会社  
Broad-minded Small Amount & Short Term Insurance Company

### 会社所在地

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-5-5  
JR恵比寿ビル7階  
TEL 0120-53-2610 / FAX 03-6859-8361

### URL

<http://www.b-minded.com/insurance>

### 設立

2007年3月

### 役職員数

7名(平成23年6月末現在)

### 資本金

7000万円(資本準備金6000万円)

### 事業内容

少額短期保険業  
財務局登録 2008年3月17日  
関東財務局(少額短期保険)第15号

### 経営陣

代表取締役社長	古川 建治
取締役	伊藤 清
取締役	鷓沢 敬太
監査役	座間 陽一郎

### 主要株主

ブロードマインド株式会社 100% (持株数:13,000株)  
(2011年6月末現在)

### ブロードマインドの社名の由来

私どもブロードマインドグループの社名である Broad-minded とは「心の広い」「自由闊達な」という意味です。ひとり一人が個性を生かせる企業でありたいという願いを込めた社名です。

### ロゴマークの意味

ブルーのスクエアの中を5本のストライプが広がっていくデザインは、当社の目指す企業像を表しています。青は安定・信頼・誠実さを表し、ストライプは希望、光、先進性を表します。5本のストライプの中で1本が別色であるのは、独自性のある事業、個性のある企業を目指したいとの思いを込めたものです。



## 4-2 組織体制と経営陣

### 組織体制

当社では実務執行部門として「経営統括部」「営業統括部」「業務統括部」「管理統括部」をおき、これとは独立した部門として「コンプライアンス統括部」を設けています。各部門が相互に連携することで、円滑で健全な業務運営をおこなっています。

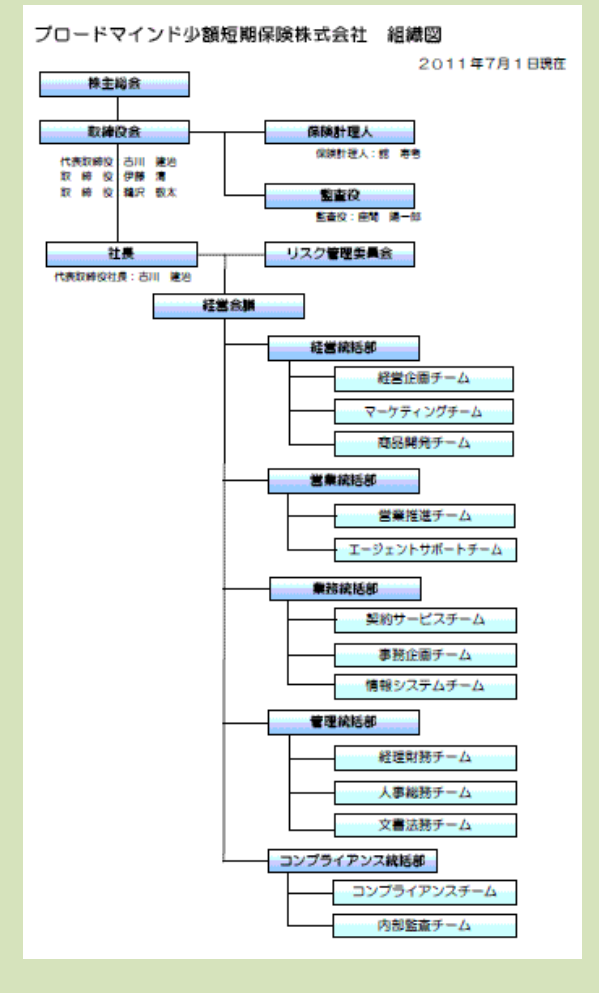
### 経営陣

取締役会、保険計理人、監査役がそれぞれの立場で会社経営、事業の状況を管理しています。また、業務執行部門の意思決定機関として「経営会議」を設置しています。

### リスク管理委員会

当社では、コンプライアンスの遵守状況、および危機管理、内部けん制の状況を中立的・客観的に検証する機関として、社外メンバーを中心とした「リスク管理委員会」を設けています。

### 組織体制 (2011年7月1日現在)



## 4-3 グループのご紹介

### ・ブロードマインドグループ

2002年に創業した国内有数の総合保険コンサルティング企業グループです。生命保険、損害保険の販売業務、各種リスクコンサルティング業務、事務受託、システム開発、再保険サービス、少額短期保険事業までを総合的にカバーできる企業グループであり、創業以来、業容を拡大してきました。

### ・ブロードマインド(BM)

BM社はブロードマインドグループの中核企業であり、生命保険、損害保険計40社以上の保険販売をおこなう総合的な保険代理店です。日本ではじめて子会社として少額短期保険会社を設立した保険代理店でもあります。

## PART 5

### 各種データ

財産及び損益の状況の推移

支店等及び代理店の状況

直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

直近の2事業年度における業務の状況

直近の2事業年度における財産の状況

## 1. 財産及び損益の状況の推移

(単位:千円)

区分		平成 20 年度 (前々期)	平成 21 年度 (前期)	平成 22 年度 (当期)
年度末 契約高	生命定期保険	607,400	2,059,600	4,791,113
	入院保障付生命定期保険	18,299,700	45,479,200	45,276,539
	無選択型生命定期保険	191,030	390,950	433,290
	フロントガラス破損補償保険	-	12,483	81,438
	スポーツ傷害保険	-	48,979,800	125,264,000
	包括移転商品	30,748,950	-	-
正味収入保険料		107,254	214,949	214,295
(生命定期保険)		1,804	4,102	9,965
(入院保障付生命定期保険)		10,091	193,122	175,553
(無選択型生命定期保険)		615	12,144	11,996
(フロントガラス破損補償保険)		-	728	5,903
(スポーツ傷害保険)		-	1,868	10,877
(包括移転商品)		94,743	2,984	-
利息及び配当金収入		146	19	13
経常損失		8,351	31,412	73,674
当期純損失		5,636	35,203	73,939
総資産		176,534	154,034	120,207
一株あたりの当期純損失(円)		563.58	3,520.31	5,687.64

## 2. 支店等及び代理店の状況

(単位:店)

区分	前期末	当期末	当期増減
支店	-	-	-
営業所	-	-	-
計	-	-	-
代理店	91	158	67
計	91	158	67



### 3. 直近の3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

(単位:千円)

区分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
経常収益	405,109	528,349	522,140
経常利益又は損失(△)	△8,351	△31,412	△73,674
当期純利益又は損失(△)	△5,636	△35,203	△73,939
資本金の額	55,000	55,000	70,000
(発行済株式の総数)	( 10,000 株)	( 10,000 株)	( 13,000 株)
純資産額	93,221	58,017	14,078
総資産額	176,533	154,034	120,207
保険契約準備金残高	12,123	23,786	31,396
(うち支払備金)	( 5,170)	( 8,384)	( 13,442)
(うち責任準備金)	( 6,952)	( 15,402)	( 17,954)
有価証券残高	-	-	-
ソルベンシー・マージン比率	3458.8%	1399.4%	361.8%
配当性向	-	-	-
従業員数(派遣、出向を含む。)	17 人	17 人	9 人
正味収入保険料の額	107,254	214,949	214,295

#### 4. 直近の2事業年度における業務の状況

##### ① 主要な業務の状況を示す指標等

(単位:千円)

	保険種目	平成 21 年度	平成 22 年度
契約者配当金の額	該当ありません。		
正味収入保険料(注 1)	死亡保険・その他の損害保険	214,949	214,295
元受正味保険料	死亡保険・その他の損害保険	351,779	374,706
支払再保険料	死亡保険・その他の損害保険	173,764	173,953
正味支払保険金(注 3)	死亡保険・その他の損害保険	23,437	58,361
元受正味保険金	死亡保険・その他の損害保険	162,913	190,951
回収再保険金	死亡保険・その他の損害保険	139,476	132,590

注1 正味収入保険料は、元受正味保険料(収入保険料)から支払再保険料を差し引いた額

2 正味支払保険金は、元受正味保険金(支払保険金)から回収再保険金を差し引いた額

##### ② 保険契約に関する指標等

	保険種目	平成 21 年度	平成 22 年度
正味損害率(注 1)	死亡保険	13.2%	29.1%
正味事業費率(注 2)	死亡保険	118.5%	111.1%
合計	死亡保険	131.6%	140.2%
発生損害率(注 3)	死亡保険	46.3%	50.9%
実績事業費率(注 4)	死亡保険	60.1%	59.5%
【合計】	死亡保険	106.4%	110.4%

注1 正味損害率は、正味支払保険金を正味収入保険料で除した値

2 正味事業比率は、正味事業費(事業費から再保険手数料を差し引いた額)を正味収入保険料で除した値

3 発生損害率は、元受正味保険金を元受正味保険料で除した額

4 実績事業率は、事業費を元受正味保険料で除した額

	平成 21 年度	平成 22 年度
出再再保険会社数	2 社	3 社
上位 5 社に対する支払再保険料の割合	100.0%	100.0%
格付けごとの再保険料の割合	A-以上	100.0%
	BBB 以上	0.0%
未収再保険金額	該当ありません。	

(格付け機関: S&P 社 2011 年 5 月 31 日現在による)

### ③ 経理に関する指標等

(単位:千円)

	保険種目	平成 21 年度	平成 22 年度
支払備金の額	死亡保険	8,384	13,442
責任準備金の額	死亡保険	15,402	17,954

	平成 21 年度	平成 22 年度
利益準備金		
任意積立金		
損害率の上昇に対する経営損失の額の変動 (損害率 1%上昇を仮定(注))	215	1,053

注 当期発生損害率が 1%上昇していたときの正味支払保険金の増加額を記載

	平成 21 年度	利回り	平成 22 年度	利回り
利息配当金収入				
現預金	18	0.01%	13	0.02%
元本補てんの契約のある金銭 信託	-	-	-	-
有価証券	-	-	-	-
小計	18	0.01%	13	0.02%
その他	-	-	-	-
【合計】	18	-	13	-

### ④ 資産運用に関する指標等

(単位:千円)

	平成 21 年度	構成比	平成 22 年度	構成比
資産残高				
現預金	39,684	25.8%	13,132	10.9%
元本補てんの契約のある金銭信 託	-	-	-	-
有価証券	-	-	-	-
運用資産計	39,684	25.8%	13,132	10.9%
総資産	154,033	100.0%	120,207	100%

### ⑤ 責任準備金の残高

(単位:千円)

区分	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当 準備金等	合計
死亡保険	6,770	9,473	-	16,244
その他損害保険	1,532	177	-	1,709
【合計】	8,303	9,650	-	17,953





## 5. 直近2事業年度における財産の状況

### ① 平成22年度(平成23年3月31日現在)貸借対照表

(単位:千円)

区分	前期金額	当期金額	区分	前期金額	当期金額
現金及び預貯金	[ 39,685]	[ 13,132]	保険契約準備金	[ 23,786]	[ 31,396]
現金	131	25	支払備金	8,384	13,442
預貯金	39,554	13,107	責任準備金	15,402	17,954
金銭の信託	[ - ]	[ - ]	普通責任準備金	( 6,413)	( 8,303)
有価証券	[ - ]	[ - ]	異常危険準備金	( 8,989)	( 9,650)
国債	-	-	契約者配当準備金	( - )	( - )
地方債	-	-	代理店借	[ 6,355]	[ 6,621]
政府保証債	-	-	再保険借	[ 57,671]	[ 58,592]
その他の証券	-	-	短期社債	[ - ]	[ - ]
有形固定資産	[ - ]	[ - ]	社債	[ - ]	[ - ]
土地	-	-	新株予約権付社債	[ - ]	[ - ]
建物	-	-	その他負債	[ 6,899]	[ 8,304]
建設仮勘定	-	-	代理業務借	-	-
その他の有形固定資産	-	-	借入金	-	-
無形固定資産	[ 7,925]	[ 6,885]	未払法人税等	489	547
ソフトウェア	7,925	6,885	未払金	4,579	4,723
のれん	-	-	未払費用	1,234	1,230
その他の無形固定資産	-	-	前受収益	-	-
代理店貸	[ - ]	[ - ]	預り金	596	1,804
再保険貸	[ 55,545]	[ 42,206]	仮受金	-	-
その他資産	[ 35,878]	[ 39,984]	その他の負債	-	-
未収金	28,376	30,575	退職給付引当金	[ - ]	[ - ]
代理業務貸	-	-	役員退職慰労引当金	[ - ]	[ - ]
未収保険料	-	-	その他の引当金	[ 1,306]	[ 1,217]
前払費用	168	180	価格変動準備金	[ - ]	[ - ]
未収収益	-	-	繰延税金負債	[ - ]	[ - ]
預託金	-	-	再評価に係る繰延税金負債	[ - ]	[ - ]
仮払金	-	-	負債の部合計	96,016	106,129
保険業法第113条繰延資産	-	-	資本金	[ 55,000]	[ 70,000]
その他の資産	7,334	9,229	新株式申込証拠金	[ - ]	[ - ]
繰延税金資産	[ - ]	[ - ]	資本剰余金	[ 45,000]	[ 60,000]
再評価に係る繰延税金資産	[ - ]	[ - ]	資本準備金	45,000	60,000
供託金	[ 15,000]	[ 18,000]	その他資本剰余金	-	-
			利益剰余金	[ 41,983]	[ 115,922]
			利益準備金	-	-
			その他利益剰余金	41,983	115,922
			退職金関係積立金	( - )	( - )
			不動産圧縮積立金	( - )	( - )
			社会厚生事業増進積立金	( - )	( - )
			その他の積立金	( - )	( - )
			繰越利益剰余金	( 41,983)	( 115,922)
			うち当期剰余金	(( 35,203))	(( 73,939))
			自己株式(Δ)	[ - ]	[ - ]
			自己株式申込証拠金	[ - ]	[ - ]
			株主資本合計	58,017	14,078
			その他有価証券評価差額金	[ - ]	[ - ]
			繰延ヘッジ損益	[ - ]	[ - ]
			土地再評価差額金	[ - ]	[ - ]
			評価・換算差額等合計	[ - ]	[ - ]
			新株予約権	[ - ]	[ - ]
			純資産の部合計	58,017	14,078
資産合計	154,034	120,207	負債・純資産の部合計	154,034	120,207



② 平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)損益計算書(単位:千円)

区分	前期金額	当期金額
経常収益	528,349	522,140
保険料等収入	[ 528,188 ]	[ 521,036 ]
保険料	351,780	374,706
再保険収入	176,409	146,330
回収再保険金	( 139,475 )	( 132,589 )
再保険手数料	( 530 )	( - )
再保険返戻金	( - )	( 112 )
その他再保険収入	( 36,403 )	( 13,629 )
支払備金戻入額	[ - ]	[ - ]
責任準備金戻入額	[ - ]	[ - ]
資産運用収益	[ 19 ]	[ 13 ]
利息及び配当金収入	19	13
預貯金利息	( 19 )	( 13 )
有価証券利息・配当金	( - )	( - )
その他利息配当金	( - )	( - )
有価証券売却益	-	-
有価証券償還益	-	-
その他運用収益	-	-
その他経常収益	[ 141 ]	[ 1,091 ]
経常費用	559,761	595,813
保険金等支払金	[ 336,677 ]	[ 365,102 ]
保険金	112,302	112,027
給付金	50,611	78,924
解約返戻金	-	199
その他返戻金	-	-
契約者配当金	-	-
再保険料	173,764	173,953
責任準備金等繰入額	[ 11,663 ]	[ 7,610 ]
支払備金繰入額	3,213	5,058
責任準備金繰入額	8,450	2,552
資産運用費用	[ - ]	[ - ]
事業費	[ 211,421 ]	[ 223,097 ]
営業費及び一般管理費	207,350	218,026
うちのれん償却額	( - )	( - )
税金	2,801	3,065
減価償却費	1,270	2,006
退職給付引当金繰入額	-	-
その他経常費用	[ - ]	[ 4 ]
保険業法第113条繰延資産償却費	-	-
その他の経常費用	-	4
保険業法第113条繰延額(△)	[ - ]	[ - ]
経常損失	31,412	73,674
特別利益	-	-
固定資産等処分益	[ - ]	[ - ]
負ののれん発生益	[ - ]	[ - ]
価格変動準備金戻入額	[ - ]	[ - ]
その他特別利益	[ - ]	[ - ]
特別損失	-	-
固定資産等処分損	[ - ]	[ - ]
減損損失	[ - ]	[ - ]
価格変動準備金繰入額	[ - ]	[ - ]
不動産等圧縮損	[ - ]	[ - ]
その他特別損失	[ - ]	[ - ]
契約者配当準備金繰入額	-	-
税引前当期純損失	31,412	73,674
法人税及び住民税	180	266
法人税等調整額	3,611	-
法人税等合計	3,791	266
当期純損失	35,203	73,939

③ 平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)キャッシュフロー計算書(単位:千円)

(単位:千円)

科 目	前期金額	当期金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	△31,412	△73,674
減価償却費	1,270	2,006
賞与引当金増減額	173	△89
保険契約者準備金増減額	11,663	7,610
受取利息及び受取配当金(P/L 営業外収益(-))	△19	△13
棚卸資産の増減	△503	20
受取手形及び売掛金の増減	△7,473	11,141
支払手形及び買掛金の増減	1,770	1,187
その他営業活動に関わる資産の増減	△53	△12
その他営業活動に関わる負債の増減	△934	139
立替金、預り金の増減額	7	1,196
供託金の増減	△5,000	△3,000
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	26	198
(小計)	△30,486	△53,290
利息及び配当金等の受取額	19	13
法人税等の支払額	△137	△406
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30,604	△53,683
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,630	△966
無形固定資産の取得による支出	0	△1,904
その他の増減額	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,630	△2,870
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	30,000
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	0	0
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	△38,235	△26,552
<b>VI 現金及び現金同等物期首残高</b>	77,919	39,685
<b>VII 現金及び現金同等物中間会計期間末残高</b>	39,685	13,132

(注) 現金及び現金同等物の範囲は、現金及び預貯金からなっております。

④ 平成 22 年度(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)株主資本等変動計算書(単位:千円)

(単位:千円)

科目	前期金額	当期金額
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
前期末残高	55,000	55,000
当期変動額	-	15,000
当期変動額合計	-	-
当期末残高	55,000	70,000
<b>資本剰余金</b>		
<b>資本準備金</b>		
前期末残高	45,000	45,000
当期変動額	-	15,000
当期変動額合計	-	-
当期末残高	45,000	60,000
<b>利益剰余金</b>		
<b>その他剰余金</b>		
<b>繰越利益剰余金</b>		
前期末残高	△ 6,779	△ 41,982
当期変動額	△ 35,203	△ 73,939
当期変動額合計	△ 35,203	△ 73,939
当期末残高	△ 41,982	△ 115,921
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	93,220	58,017
当期変動額	△ 35,203	△ 43,939
当期変動額合計	△ 35,203	△ 43,939
当期末残高	58,017	14,078
<b>純資産合計</b>		
前期末残高	93,220	58,017
当期変動額	△ 35,203	△ 43,939
当期変動額合計	△ 35,203	△ 43,939
当期末残高	58,017	14,078

⑤ 保険金等の支払能力の充実の状況

(単位:千円)

項目	前期	当期
(1) ソルベンシー・マージン総額	67,006	23,729
① 純資産の部合計 (社外流出予定額、評価・換算差額等及び繰延資産を除く)	58,017	14,078
② 価格変動準備金	-	-
③ 異常危険準備金	8,988	9,650
④ 一般貸倒引当金	-	-
⑤ その他有価証券の評価差額 (税効果控除前) 99%又は100%)	-	-
⑥ 土地含み損益 85%又は100%)	-	-
⑦ 契約者配当準備金	-	-
⑧ 将来利益	-	-
⑨ 税効果相当額	-	-
⑩ 負債性資本調達手段等	-	-
告示 第14号)第2条第3項第5号イに掲げるもの ⑩(a)	-	-
告示 第14号)第2条第3項第5号ロに掲げるもの ⑩(b)	-	-
⑪ 控除項目 (-)	-	-
②) リスクの合計額 $\sqrt{[R1^2 + R2^2]} + R3 + R4$	9,576	13,118
保険リスク相当額	8,968	12,516
R1 一般保険リスク相当額	8,968	12,516
R4 巨大リスク相当額	-	-
R2 資産運用リスク相当額	2,227	2,040
価格変動リスク相当額	-	-
信用リスク相当額	395	131
子会社等リスク相当額	-	-
再保険リスク相当額	1,276	1,487
再保険回収リスク相当額	555	422
R3 経営管理リスク相当額	335	437
ソルベンシー・マージン比率 (1) / {1/2 × ②}	1399.4%	361.8%

⑥ 有価証券または金銭の信託に関する取得価額または契約価額、時価および評価損益

有価証券 該当ありません。

金銭信託 該当ありません。

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に関する事項

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…… 該当ありません。

無形固定資産…… 定額法を使っております。

なお、耐用年数につきましては、自社利用のソフトウェアは、社内における利用可能期間(5年)で償却しております。

#### (2) 引当金の計上基準

貸倒引当金 ……

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績等により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 ……

従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額を計上しております。

#### (3) 消費税及び地方消費税の会計処理

現在、消費税の免税事業者であり、消費税は発生しておりません。

尚、計上時の消費税等の会計処理は、税抜方式により計上しております。

### 2. 重要な会計方針及び表示の変更に関する事項

表示項目を保険業法及びその関係法令に準じた内容としております。

### 3. 貸借対照表関係注記事項

#### (1) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

#### (2) 関係会社に対する金銭債権・金銭債務

代理店借	621 千円
未払金	915 千円

#### (3) 繰延税金資産の発生原因別の内訳

繰延税金資産は計上しておりません。

#### (4) 再保険を付した保険契約に係る保険契約準備金

再保険を付した部分に係る支払備金	38,111 千円
再保険を付した部分に係る責任準備金	70,050 千円

### 4. 損益計算書関係注記事項

#### (1) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

#### (2) 収益及び費用に関する金額

正味収入保険料	214,295 千円	
正味支払保険金	58,362 千円	
支払備金繰入額の計算上、差し引かれた出再支払備金額		38,111 千円

#### (3) 関係会社との取引高

代理店手数料	9,007 千円
--------	----------

### 5. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

#### (2) 発行済株式の種類及び総数

発行済株式の種類	前期末株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	10,000	3,000	-	13,000

### 6. 関連当事者との取引に関する注記

#### (1) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

#### (2) 関連当事者との取引

該当事項はありません。

#### (3) 親会社又は重要な関連会社に関する事項

親会社情報	ブロードマインド株式会社	非上場
重要な関連会社	該当事項はありません。	

### 7. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額	1,082円93銭
1株当たりの当期純損失	5,687円64銭

(注)期末発行済株式数に基づいて算定しております。

ディスクロージャー 2010  
2011年7月発行

ブロードマインド少額短期保険株式会社  
〒150-0022  
東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル7階  
TEL 0120-53-2610 / FAX 03-6859-8361  
<http://www.b-minded.com/insurance>







Broad-minded  
Small Amount & Short Term  
Insurance Company